

例会報告 Rotary

高山3RC合同
ガバナー公式訪問

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 会長 下屋勝比古
- 幹事 塚本 直人
- 会報委員長 挾土 貞吉

大垣共立銀行高山支店 4F

世界に希望を生み出そう

高山3RC合同ガバナー公式訪問例会

9月11日(月) 12:30~ ひだホテルプラザ

<プログラム> 司会進行 高山中央RC幹事 長瀬栄二郎

点 鐘 高山中央RC会長 岩本 正樹

ロータリーソング 奉仕の理想

ゲストおよび地区役員/委員の紹介 高山中央RC会長 岩本 正樹

国際ロータリー第2630地区 ガバナー 篠原 一行 様

国際ロータリー第2630地区 パストガバナー 桑月 心 様

国際ロータリー第2630地区 パストガバナー 剣田 廣喜 様

国際ロータリー第2630地区 幹事 三吉 由久夫 様

多治見リバーサイドロータリークラブ 中山 仁志 様

国際ロータリー第2630地区 青年奉仕委員会委員長 高橋 厚生 様

国際ロータリー第2630地区 研修委員会委員 北川 由幸 様

国際ロータリー第2630地区 国際奉仕委員会委員 清水 幸平 様

国際ロータリー第2630地区 米山記念奨学会委員 熊崎 元康 様

国際ロータリー第2630地区 社会奉仕委員会委員 中屋 出 様

国際ロータリー第2630地区 DEI推進委員会委員 西 美紀 様

食 事

会長の時間 高山中央RC会長 岩本 正樹

出席報告 各クラブ出席委員長

ニコニコボックス 高山中央RCニコニコ委員会

歓迎の挨拶 高山RC会長 北川 由幸

ガバナー紹介 パストガバナー 剣田 廣喜 様

ガバナー卓話

謝 辞 高山西RC会長 下屋 勝比古

点 鐘 高山中央RC会長 岩本 正樹

写真撮影 3RC合同

なげよう」とされました。ロータリーは社会に貢献する世界的な団体として、日本で大切にされてきた“ロータリー観”と、“ロータリアン同士の親睦”を基盤に、価値ある奉仕活動を通じて、立派なロータリアンを育てることがとても大切で、～ロータリーは「親睦・学び・成長・奉仕」～と語られておられます。

高山クラブの北川会長はスローガンを「原点回帰で新たな一歩を」とされ、原点回帰とは、私たちが設立当初に掲げた目的や理念に立ち返り、再びその精神を取り戻すことで、その為にはまず「例会」を大切にする事が第一だとされております。また、高山西クラブの下屋会長はスローガンを「自他共栄」とされ、己を高め地域や街へ還元し尊敬されるクラブで活動しようと目標を掲げられ、その為に「例会に命(魂)を込める」と宣言されております。そして、我が高山中央クラブはスローガンを「親睦・例会に出席しよう」と簡単明瞭に致しました。それは篠原ガバナーがロータリーは『親睦・学び・成長・奉仕』と説かれる中で、例会出席はロータリー活動の最も大切にしなければいけない中核な部分だと考えたからでございます。この様に高山の3クラブは奉仕活動の内容はそれぞれ異なりますが、例会を大切に重んじている点におきましては価値観を共にしていると言って良いと思います。例会を通じて親睦を深め、会員同士の信頼関係を構築し、良く学び成長してこそ、より価値のある社会貢献ができる、その様に篠原ガバナーの地区活動方針を私なりに理解させて頂きました。本日はこの後の篠原ガバナーの卓話をお聞きかせ頂き、それを糧に3クラブの2023-2024年度の活動を有意義なものにしていく所存でございます。

最後になりますが、第2630地区並びに高山3クラブの益々の発展と、本日お集りの皆様方のご健勝を祈念致しまして簡単ではございますが、ご挨拶と会長の時間とさせて頂きます。ご清聴ありがとうございます。

<会長の時間>

高山中央RC

岩本 正樹 会長

皆さんこんにちは、私は高山中央ロータリークラブ第33代会長を務めさせて頂いております岩本と申します。3クラブを代表してご挨拶をさせて頂きます。こんなに沢山の皆様を前にしますと非常に緊張いたしますが、どうぞよろしくお願い致します。最初に第2630地区ガバナー 篠原一行様、地区幹事三吉由久夫様、多治見リバーサイドロータリークラブ中山仁志様をはじめ先程紹介させて頂きました地区委員の皆様には本日は大変お忙しい中、又遠い高山までお越し頂き誠にありがとうございます。本日はご指導の程よろしくお願い致します。

篠原一行ガバナーは今年度の地区方針を「奉仕の心を未来につ



<ニコニコボックス>

国際ロータリー第2630地区 ガバナー

篠原 一行 様

本日は、高山3ロータリークラブ合同公式訪問例会、よろしくお願い致します。

高山ロータリークラブ 北川 由幸 会長、高山西ロータリークラブ下屋 勝比古 会長、高山中央ロータリークラブ 岩本 正樹 会長

国際ロータリー第2630地区 ガバナー篠原一行様、地区幹事 三吉由久夫様、多治見リバーサイドロータリークラブ 中山仁志様のご来訪を歓迎致します。本日はご指導のほどよろしくお願い致します。また、パストガバナーならびに地区委員会委員の皆様、ご出席ありがとうございます。



例会報告

<歓迎の挨拶>

高山RC 北川 由幸 会長

本日は、篠原ガバナーをはじめ、地区役員の皆様、お忙しい中ようこそ飛騨高山の地へお越しいただきました。私たち三クラブ一同が、篠原ガバナー及び地区役員の皆様を心より歓迎申し上げます。

今年度は、昨年度までの、コロナ禍を気にしながらの開催ではなく落ち着いて皆様方に集まっていた三クラブが合同で公式訪問例会が開催できますことが大変ありがたいと思っております。本日は、篠原ガバナーよりご指導をいただき有意義な時間を共に過ごすことを心より願っております。どうか最後までよろしく願いいたします。



<ガバナー卓話>

ガバナー 篠原 一行 様

各クラブの皆様方には、日頃より、地区運営にご理解ご協力をいただきましてありがとうございます。本年1月に、国際協議会に出席しました。長くサンディエゴで開催されていた国際協議会ですが、浦田バストガバナー年度から、アメリカフロリダのオーランドで開催されるようになりました。コロナの影響で3年ぶりの現地開催となりました。浦田バストガバナー、高橋直前ガバナーはリモートで参加されています。皆さんご存じの通り、オーランドと言えば、数々の有名なテーマパークのある所です。



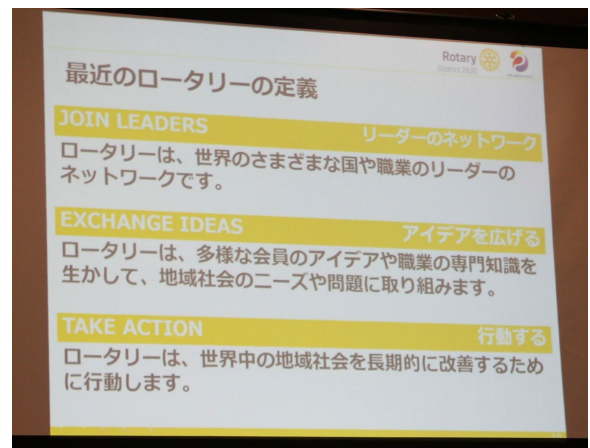
RI会長のテーマは、「CREATE HOPE in the WORLD 世界に希望を生み出そう」であります。私たちの目標は、紛争から世界が立ち直れるように、希望を取り戻すことです。そうすれば、私たち自身のために持続可能な変化をもたらすことが可能となるでしょう。平和とは、希望が根づくための土壌です。世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和で、より希望のある世界を築く手助けができると思います。ロータリーは、今までの多くの奉仕プロジェクト事業を通して、多くの人に多くの希望を与える活動を実践してきました。これこそ、ロータリーが、世界にもたらしている変化ではないでしょうか。この変化が、一つずつ希望を取り戻し、新たな希望を生み出していけると思います。平和とは、紛争や戦争が無くなることは勿論ですが、治安が良いこと、貧困や飢餓がなくなること、家族と平穏に暮らせること、人として最低限の文化的な生活ができることではないでしょうか。そのために、ロータリアンは奉仕の心をもって、未来のために多くの課題の解決に取り組んできました。これからも、世界に希望を生み出すためには、多くの人たちに希望を持ってもらえるような活動をしていきたいと思っています。そのためには、「奉仕の心」を常に持って、そして「未来の人たちのため」に、それを「つなげていくこと」が大切と考えています。私のガバナーとしての地区方針は、「奉仕の心を未来へつなげよう」です。

日本のロータリーは、例会をとっても大切にしています。「Enter to learn, Go forth to serve 入りて学び、出でて奉仕せよ」例会の場で奉仕の理念を学び、外では奉仕の実践を！であります。日本には

素晴らしい『地域』があって『ロータリー』があって『ロータリアン』がいます。例会で多くのことを学び、奉仕の心を磨き、奉仕の実践をして、奉仕の心を多くの人たちにつなげていくことで奉仕の輪が広がり、地域社会の発展、広くは世界の発展、世界平和に貢献できるようになるでしょう。私たちが、未来のために共に行動しようではありませんか。

例会は、職業人としての倫理を向上させ、理念の浸透を図り、互いに切磋琢磨し学ぶ場であります。例会のプログラムを大切にし、例会への出席を大切にしましょう。例会のプログラムを工夫するなどして、例会に出席してよかったという気持ちで帰ってもらえるようにしたいものです。中でも会長挨拶はとても大切であると思っています。また、多くのクラブが、クラブ研修リーダーを選任していただいていると思いますが、クラブを活性化するためにも、クラブ内での研修活動を定期的実施することは効果的と考えます。ロータリーの理念やロータリーの素晴らしいさが身に付けば、クラブの強化につながると思います。それが強いて言えば会員増強にもつながると考えます。入会して3年未満で辞める方が50%近くいます。ロータリーの理念も、ロータリーの素晴らしさも理解しないでやめていかれることは、本当に残念でもったいないと思います。

次に、日本のロータリーは、職業奉仕、4つのテスト、ロータリーの目的、例会を重視してきました。そして、ロータリーの二つの公式標語である「超我の奉仕」は、奉仕の哲学を表しています。「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」これは実践論です。他者に対する正しい経営の科学のみが引き合います。日本のロータリーでよく話される近江商人の三方よしです。大切なことは、世間良しです。



また、ロータリーの定義として、2010年に出されたロータリーの中核的価値観というものがあります。『奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップ』の5つです。ロータリーの目標でもあり、ロータリーを定義づける不変的な価値観です。

そして、2017年に、私たちロータリアンは、「世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。」というビジョン声明が出されました。これを実践するための戦略計画があります。『より大きなインパクトをもたらす。参加者の基盤を広げる。参加者の積極的なかわりを促す。適用力を高める。』です。先ほどの5つの価値観、ビジョン声明を達成するための戦略計画といえます。

よって、「会員基盤の強化」が大変重要となってきます。日本のロータリーは、25年前に約13万人でしたが、今は約8万人弱です。若い世代や経験豊富な退職者世代、また性別を問わず入会していた

例会報告

だきたいと思います。クラブは、多様性・ダイバーシティの概念を念頭において、仲間を増やす工夫をして頂きたいものです。世界で女性会員の割合は約25%ですが、日本は約7%です。全体の会員数はコロナの影響でここ3年間は減少しており、大変厳しい状況です。各クラブ平均1人増えれば、地区全体で73人増えます。会員の多いクラブは、更に増員増強にご尽力をお願いします。そのためには、クラブを魅力あるものにすることが肝要と考えます。そして一人一人の会員と向き合い、意欲を持って奉仕活動を行うことができる会員が数多く存在することが、クラブの魅力になるのではないのでしょうか。元気で居心地の良いクラブづくりに積極的に取り組んでほしいと思います。

そして、「DEI、ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン。」あまりなじみのない言葉かもしれませんが、現在とても大切なワードとして私は地区方針にうたっております。この取り組みは、多くの企業で推進されています。当地区では、昨年度よりD・E・I委員会を立ち上げ、誰でも活躍できるロータリーに推進していきます。

ここで公共イメージと認知度の向上についてお話しします。「ロータリー」は意外と世間に知られていません。あるいはロータリーという名前が知られていても、どんな活動をしているかはあまり知られていないようです。我々の活動が世間に認知されることで、我々の励みにもなると思います。奉仕活動の機会を捉え、クラブがこれまで行ってきた活動を伝えるとともに、ロータリーが国際的なネットワークで実践している「ポリオ撲滅」に力を入れていることなども伝えていきたいです。

ロータリーの奉仕は皆さんご存じの通り、五大奉仕です。5つの内、国際ロータリーRIが実際に携わって実施しているのは青少年奉仕だけです。ロータリーのキーワードは「未来のため」です。RIは青少年交換・インターアクト・ローターアクトに力を入れています。共にとても素晴らしい事業です。全てロータリーファミリーです。

さらには2015年以降、SDGsがよく語られています。2030年までの持続可能な17の目標を改めてかいつまんでみますと、その多くが以前より、ロータリーの奉仕プロジェクトプログラムの中に組み込まれていることに気付かされます。以前は6つでしたが、「環境の保護」がプラスされて、7つの重点分野になりました。それを受け、各クラブがさらに様々な奉仕プロジェクトを実践するようになりました。『Doing good in the world 世界で良いことをしよう』そこで、ロータリー財団の地区補助金、グローバル補助金制度を活用して、地域社会で、また海外で奉仕プロジェクトを実践してくださいようよろしくお願いします。

ロータリー財団は、世界では非常に高い評価を受けています。あの有名なチャリティナビゲーターで、連続15年最高位の4つ星を頂いています。お金の使い道、使い方、透明性、いずれの面においても高い評価を受けています。財団奨学生も素晴らしいです。皆さんご存じの緒方貞子さんや、国連の事務次長の中満泉さんを初め、数多くの財団奨学生が世界各地で大活躍してみえます。今後も世界に羽ばたく人材を育成することができるよう、財団へのご寄付、一人当たり150ドル以上を、引き続きよろしくお願いします。

ポリオは非常に感染性の高い病気であり、特に感染しやすいのは5歳未満の子どもです。日本では一般に「小児まひ」と呼ばれることもあります。ポリオウイルスは人から人へ感染し、最も多いのは汚染水を通じた感染です。根絶した天然痘と同じで、媒体を通じてではなく人から人ですので、ネガティブではなくポジティブに応

援して頂きたいと思います。今年になって、アフガニスタンとパキスタンで6月20日までに6件発症が確認されています。残る0.1%のポリオの根絶が課題であり、ワクチン投与を続けなければなりません。日本でも毎年ポリオワクチン投与で約400億円使用しています。ポリオ撲滅が実現すれば、ロータリーの人道奉仕の成果として、歴史に残ります。引き続きポリオ・プラスへの寄付のご協力ををお願いします。

米山記念奨学生。ロータリーの米山記念奨学会の制度は、1952年に始まりました。戦後まもなくです。創設の目的は、「日本が再び戦争をしないという強い意志を持ち、そして、我々ロータリアンが平和を築く努力をする」、という趣旨です。日本で勉強・研究をしている留学生への支援を通じて、信頼関係を築き、留学生の皆さんに、世界平和の懸け橋となっていただくことを願って設けられたものです。留学生が、専門的な研究で成果を挙げられるとともに、これを機会に、各国のロータリアンとの交流を通じて、国際的な友好、信頼を深めていただき、日本と母国との懸け橋になって活躍して頂きますように願っています。米山記念奨学会への寄付も宜しくをお願いします。

ロータリー賞、RI会長特別賞を目指していただきたいです。3つの戦略的優先項目に沿っていくつか項目がありますが、それほど難しくはありません。予定者の段階で、マイロータリー、クラブセントラルから入力していただけます。

元気のクラブ、魅力あるクラブ、居心地の良いクラブとは、親睦や例会を会員が楽しみ、ロータリーを通じて友人が増え、みんなの知識レベルやロータリーの理解が深まり、奉仕活動を通じて世の中の為に良いことをしているという喜びを実感できるクラブではないでしょうか。そして、新しい会員が入って仲間が増え沢山の同好会があり、他のクラブとも交流があるクラブにしていきたいものです。ロータリーに大切なことは、多様性と寛容な心だと思います。ロータリーは時代とともに変化しています。固定観念に縛られない新しい風を取り入れて、皆で一緒になってより良い方向へ考えていきましょう。

ロータリーは、ロータリアン同士の親睦を重ねて、共に学び、そして社会に貢献する世界的な団体です。日本で大切にされてきたロータリー観を一言で言えば、『親睦・学び・成長・奉仕』です。

マイロータリーでは、多くの正しい情報が得られます。日本国内34地区、第2630地区のマイロータリーへの登録率は約30%、全国平均より大変低いです。各クラブともぜひマイロータリーの登録をお願いします。入会と同時に登録しているクラブもあります。地区登録率50%目指して、重ねて宜しくお願いします。そしてもう一つ、ロータリーカードについてお願いがあります。個人とクラブ用、地区用、地区委員会用とありますが、クラブカードは、人頭分担金やR財団への寄付金送金も、マイロータリーよりRカードで送金が大変便利です。地区カード、そして地区委員会カードの推進についても合わせてよろしくお願いします。使ったお金の0.3%がポリオに自動的に送信されます。

最後になりますが、本年11月18日(土)に多治見市で地区大会を開催いたします。テーマは、「希望と未来を、あつく語ろう 多治見のまちで。」です。多くの皆様方のご登録、ご参加を宜しくお願いいたします。日本の伝統、しっかりとおもてなしをもって皆様方をお待ちしています。

例会報告

＜謝辞＞

高山西RC 下屋 勝比古 会長

本日は、篠原ガバナー始め、地区役員の皆様におかれましては、昨晚の役員懇親会、本日午前の会長幹事懇談会、そして3RC合同の公式訪問例会のため、秋風が吹き始めた飛騨路までお越し下さり、誠にありがとうございました。

また今回、高山中央クラブの皆様には、会場設営や運営などお世話になりました。御礼いたします。

ようやくコロナの3年間を埋めるため、フル日程での各クラブの事業を通してそれぞれのクラブが元気に活動し、これから開催されるIMや地区大会を通して、コロナ前のようなクラブ同士の親睦を深め、会員同士の新たな成長を皆さんで目指していきましょう。本日は誠にありがとうございました。



人間力を高める

第8回

自分自身の人間力について

榎坂 純一

記事を書くにあたり、果たして自分に「人間力」があるのかと自問自答しました。自分が立ち上げた事業がなかなかうまくいかず、落ち込み、いらだち、周りから慰められる自分の姿を客観視すると、まだまだ「人間力」は高くないと自覚するばかりです。うまくいかない時こそ、人間の本质が現れるとよく言われますが、まさに自分が今その立場にいと強く感じています。

人手不足、売り上げ不振など会社を経営しているとうまくいかない事ばかりです。数多くの先輩経営者はそのような困難を幾度も乗り越え今があるのだと自分に言い聞かせ、今できることに全力で取り組む必要があると思っています。

まずは目の前の仕事に全力で取り組み、圧倒的な努力で結果を出す。そして私を支えてくれる人々に感謝を忘れず、謙虚な気持ちで日々を過ごす。これらを毎日続けることが「人間力」を高めることになると信じ、日々を過ごしていこうと考えています。そして数年後、「人間力」とはというテーマで、人々の心に残るような文章を書けるような人間になりたいと思っています。

